

# ふれあい

特集号  
Vol.18



山梨に魅かれて  
何百年、何千年と変わらない風景に  
身を置いていると、  
心が安らぎ、癒されてくるのを感じます。

モデル・  
アウトドアエッセイスト **木村 東吉さん**

「果樹王国やまなし」の  
ブランド化に向けて

地域の医療を守るために

やまなし歴史探訪「時を今につなぐあの日」



## ふれあい

特集号  
Vol.18

平成三十年九月三十日山梨県広聴広報課発行 〒400-0185-01 甲府市丸の内丁目六の一

### 山梨県立考古博物館

やまなしの施設紹介

Yamanashi Prefectural Museum of Archaeology

旧石器時代から明治まで、  
約3万年の先人の足跡をたどる  
県立考古博物館

約3万年前から人類が住み始め、古墳時代には隆盛を極めた山梨。数々の出土品から、先人の足跡をたどり、その思いに触れることのできるのが、県立考古博物館です。なかでも目を引くのは、芸術的にも優れた縄文土器の数々。縄を転がしたような文様のあちこちにはイノシシやカエル、ヘビといった生き物、そしてあどけない女神の顔。見る者の心を古の世界へと誘います。国史跡指定の甲斐銚子塚古墳を含む一帯は「甲斐風土記の丘 曾根丘陵公園」として整備されており、家族で休日をご過ごすにも最適。紅葉にそまる秋の日、時を越えてもたらされる古代からのメッセージに耳を傾けてみませんか？



第26回特別展  
「埋められた財宝～大形装飾土器、銅鐸、そして埋蔵金」  
10月1日(水)～11月24日(月)

人為的に打ち割った破片が丁寧に重ねられていた縄文時代の巨大土器や、横にして、ひれを立てた状態で出土した弥生時代の銅鐸、そして特別な容器に詰められていた中世の金貨など、惜しげもなく埋められていた時代を象徴する財宝の数々。県内初となる銅鐸をはじめ貴重な財宝を多数展示すると共に、人々はなぜ至宝を埋めたのか？という歴史ミステリーに迫る特別展です。



安道寺遺跡水煙土器

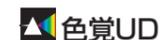
前原銅鐸

風土記の丘研修センターで  
ものづくりに挑戦！

平成元年のオープン以来、縄文土器作りをはじめとする各種教室や講演会などを開催している風土記の丘研修センター。随時実施している家族向けの「火起こし体験」や「古代の装身具(勾玉づくり)」に加え、毎月1～2回行われる「ものづくり教室」も人気です。特別展開催中は、青銅器、土偶、石包丁作りなどが予定されていますので、こちらもお楽しみに。実施日の1カ月前から予約できます。(詳細はHPでご確認いただくか、お電話でお問い合わせください。)



Yamanashi Prefectural Museum of Archaeology 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923 ☎055-266-3881 ☎055-266-3882  
山梨県立考古博物館 <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kouko-hak/>



県政だより「ふれあい」についてのご意見やご要望をお寄せください

広聴広報課 TEL:055-223-1339 FAX:055-223-1525

E-Mail:kouho@pref.yamanashi.lg.jp URL:<http://www.pref.yamanashi.jp/>

